

第 650 回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議題 —

テレビ番組

「B S N NEWS ゆうなびS P～震度 6 強の教訓～」

(放送日時：2019 年 6 月 29 日(土)午後 5 時 00 分～午後 5 時 30 分)



令和元年 9 月 25 日

BSN新潟放送

第650回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 令和元年9月25日（水）午前11：00～

2. 開催場所 新潟市中央区 新潟放送 6F

3. 委員の出席

○委員側出席者（敬称略・順不同）

委員長 古賀 豊
委員 馬場 幸夫

委員 小島 良子
委員 三井田 由香

○審議番組事前レポート提出

委員 石坂 智恵美

委員 渡邊 信子

○委員側欠席者（敬称略・順不同）

副委員長 佐藤 元
委員 小原 清文

委員 稲荷 善之
委員 高木 言芳

○放送事業者側出席者

社長 佐藤 隆夫
メディア本部長 金田 博幸
情報センター長 小湊 潤

専務取締役 島田 好久
編成局長 荘部 秀治

<説明員> 情報センター報道部 長岡 剛生

事務局 阿部 基行（編成局テレビ編成部長）

4. 議題

- 1 報告事項 • 10月の番組について（各局長）
- 2 審議番組 • テレビ番組「B S N NEWS ゆうなびS P～震度6強の教訓～」
(放送日時：2019年6月29日(土)午後5時00分～午後5時30分)

5. 議事の概要

各局長からの2019年10月度番組報告に続いて、テレビ番組「B S N NEWS ゆうなびS P～震度6強の教訓～」（6月29日放送）について審議が行われた。

～番組審議委員の主な意見～

- ニュース番組として、事実を 1 つ 1 つ確認して伝えていたので、共感をもってみる事ができた。
- 障がい者の観点はなかったものの、高齢者の目線で避難の問題点などを取り上げていたのがよかったです。
- 最近は防災への関心が高まっている。津波避難には何が大事なのか理解できた。
- 生放送中にキャスターが専門家に「新潟の津波の特徴を教えて欲しい」と質問していたが、専門家も新潟県について聞かれているのか新潟市として聞かれているのか不明で戸惑いながら答えていたようだった。単純に新潟と聞かれるとわからない部分がある。新潟県なのか？それとも新潟市なのか明確にして表現して欲しい。
- 津波注意報・津波警報の問題点などをわかりやすく説明していた。しかしその一方で、避難所の問題では、避難所の管理者がどのように決められていたのかとか対応方法などについて深掘りして欲しかった。
- 地震発生から 10 日後の放送で、速やかに取り組んだと思う。
- 津波警報・注意報の解説がわかりやすかったが、やや早口で年配の方に把握できないと思っていたところ、番組後半におさらいをしてくれて良かった。
- 番組は最終的に「教訓を活かす」と提言して終わっていた。今後も地域の動き、住民の考え方や行動、行政の取り組みなどについて、定期的に紹介・検証をして欲しい。
- 避難所に指定されている学校に避難しても、鍵が開いてなかったと聞いた。その避難所は、教頭先生が対応する事になっていたようで、システムの構築が必要だと改めて思った。
- 今回は様々混乱がありました。沿岸部の住民が実際に避難のための行動をしていたことも、ニュースや車で避難した方から話を聞いて驚いた。

～新潟放送 情報センター報道部 長岡剛生記者から～

貴重なご意見を頂き、ありがとうございます。

今回の地震で発生して津波は結果的に 10 cm でしたが、およそ 5,000 人が津波避難したといわれました。0.2m から 1 m 未満の津波予測が津波注意報であることを理解していない部分もあったので、津波注意報と津波警報の違いに重点を置いて番組を制作しました。また地域によって課題が分散していて、取材やまとめが難しかった。各地域の課題を取り上げる事で議論のきっかけになる事を考えて制作しました。地震発生から 10 日と短い期間で描けた事は少なかったと思います。引き続き、防災の観点を持って取材して行きたいと思います。本日はありがとうございました。

【文責・番組審議会事務局】